

令和4年度 第4回 丸塚中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年2月20日（月） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 丸塚中学校 多目的ルーム
- 3 出席委員 稲垣 邦圓、鈴木 悦子、尾上 弘、名倉 善郎、酒井 里江子
宮下 まゆみ、田嶋 節子（CSコーディネーター）
- 4 欠席委員 石川 直明、園山 尚俊
- 5 学校 高柳 慎二（校長）、青島 正和（教頭）、中井 浩行（CS担当教員）
石津谷 訓子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 小川 誠司（教育総務課）
- 7 傍聴者 なし
- 8 協議事項
 - （1） 学校関係者評価について
 - （2） 来年度の学校運営基本方針について
 - （3） 学校運営協議会の自己評価について
 - （4） その他
- 9 会議録作成者 CSディレクター 石津谷 訓子
- 10 会議記録

司会の教頭青島から委員総数9人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。また、第1回運営協議会で承認された尾上副会長が議長をする旨の報告があった。

○ 協議事項

（1）学校関係者評価について

教務主任の村上から、「学校評価アンケート結果」に基づいた考察と今後の取り組み、改善策の報告があった。

- ・ アンケート結果の自己肯定感の低さが気になった。小さな成功体験や達成感を積み重ねることが大切だと思った。（宮下委員）
- ・ 日本人の自己肯定感が低いのは、道徳的なことからなのかは分からないが、思春期の時期は変えることができる。スポーツ選手のように「自分ができる」と常に鼓舞している方の話を伝えるのもよい。（尾上委員）
- ・ 中学生と関わって、年々心に響くような行動が増えていることを感じる。心が真っ直ぐなら、行動も真っ直ぐになる。地域では、縁の下の力持ちになれるよう

心を育てる力になりたい。(鈴木委員)

- ・ 丸塚中学校や校外で生徒に会った時、表情が穏やかで落ち着いている。良い雰囲気になっているのを感じる。(稲垣委員)
- ・ 全体の評価はいいが、自己肯定感が低い。人には易しく自分には厳しい評価をする方が良いといった、先生の顔色を窺った評価をする子はいないか？(尾上委員)
 - 難しいところだが、直感的に素直に答えていると思う。(村上教務主任)
 - 面接練習でも、丸塚中学校の良い所やクラスの雰囲気などは答えられるが、自分の長所がなかなか言えない生徒が多い。(青島教頭)
- ・ 対話的な授業をやると、他の人と話す中で相手の良さを見つけたり、相手との違いから自分の良さを見つけたりすることもできる。(尾上委員)
- ・ 自分の良い所をいくつか出したりして、自分と向き合うことも必要だと思う。(田嶋委員)
- ・ 改善策が具体的に示されているので、その通りに実践して欲しい。また「こころの日」や「こころパワーアッププロジェクト」とは、どのような活動か？(名倉委員)
 - 「こころの日」は月1回朝読書の時間に、先生から語りかけをしている。命の大切さや言葉の使い方、LGBTQ などテーマは様々。「こころパワーアッププロジェクト」は学年やクラス単位で、ゲーム等を通してコミュニケーションを取っていくプロジェクト。生徒同士が互いにコミュニケーションを取りながら問題を解いていき、その中で人間関係を形成していく。(村上教務主任)
- ・ 2月4日の池上正氏の教育講演会の内容を、先生方にも知って欲しいし、ぜひ実践して欲しい。(宮下委員)
- ・ 生徒の皆さんは人に誇れるものが必ずあると思うので、できる事を諦めないで、夢をもって過ごしてほしい。(酒井委員)

(2) 来年度の学校運営基本方針について

校長高柳から、来年度のグランドデザインを基に学校経営構想の説明があった。

- ・ 学校関係者評価の改善策も反映されていて良いと思う。重点目標の「信・義・愛」も心の成長を大切にしていることがわかる。(尾上委員)
- ・ 「人が好き 学校が好き この街が好き」ネットの世界が広がり人と関わることがなかなかできない子が増えているので、この多感な時期に人と関わる力を蓄えることが大切だと思う。(宮下委員)
- ・ コロナ禍で閉ざされているかと思ったが、授業参観をして子供達が和気あいあいとしていて良かった。これから子供同士の関わりが多い活動が展開されるのではないかと楽しみだ。このグランドデザインで、ぜひ来年度もやっていただきたい。(尾上委員)

(3) 学校運営協議会の自己評価について

＜学校運営の基本方針について熟議することができたか。＞

- ・ 1年目で手探り状態だったが、大体学校方針が掴めた。少しずつ学びながら学校支援に協力していきたい。(鈴木委員)
- ・ 学校運営の基本方針について、理解することができた。(尾上委員)
- ・ 基本方針を核として、目指す生徒像を共有し、学校、家庭、地域それぞれの視点で課題に対し、実効性のあるビジョンを考えていきたい。(酒井委員)

＜学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。＞

- ・ より多くの地域住民の参画、多様な活動をしている大人との出会い、学びから自分らしい生き方を見つけて欲しい。何をするのかでなく、何のためにするのか、未来を担う子の成長を地域全体で熱意をもって応援していく。(酒井委員)
- ・ 草木染めや紙バンドでの干支作りで、生徒の活動に触れることができた。実際に生徒の顔を見ることは、実態が理解しやすくなるので良かった。(尾上委員)
- ・ 以前インドネシア語が話せる方や、数学を教えてくれるボランティアの方を募っていたがその後どうなったか。(田嶋委員)
→ なかなか人材が集まらないので、今後も声掛けを続けていく。(高柳校長)

＜今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）＞

- ・ 2年目になるので、学校の先生方への意見交換にも積極的になれるのではないかと思う。ブレーキではなく、応援できるような協議会になりたい。(尾上委員)
- ・ 学校からの具体的な要望はあるか。(宮下委員)
→ 生徒50名ほど受け入れてもらえる職場体験の場の情報を収集している。また、インドネシア語、ポルトガル語の分かる方のボランティアを募集している。(青島教頭)
- ・ 丸塚中の方針や活動の実態を知ることができると、私たちもどのように対応していけばよいかという今後の姿勢も決まってくるので良かったと思う。来年度は今年度の積み上げをしていきたい。(稲垣委員)

○ その他報告事項等

担当教員中井から、いじめ防止基本方針についてと、教頭青島から夢育やらまいか事業（CS加算分）についての報告があった。また、来年度第1回運営協議会は令和5年5月26日（金）13：30～開催予定である旨の報告があった。